



第25号
平成12年
2000

会 報

にしきうら



高知県立須崎工業高等学校同窓会

目 次

ご 換 拶……………	同窓会 会長 寺田 郁雄…	1
ご 換 拶……………	学校長 橋本 俊彦…	2
学校近況……………	教 頭 中山 護邦…	2
進路指導部より……………	西川 哲夫…	4
関東支部だより 2000年故郷での夏休み……………	堀内 靖博…	5
京滋支部だより ふんどしの紐を締め直して……………	片岡 純一…	6
大阪支部だより 防災人の思い出……………	西森 廣利…	7
電気通信科 同窓会のお知らせ……………	野並 允温…	8
高知支部だより 母校創立60周年を迎えるに当たり……………	井上 健弘…	10
事務局だより……………		11
終身会費納入者(1年間分)平成11年10月1日～平成12年9月30日)……………		13
平成11年度決算並びに平成12年度予算……………		14
平成12年度役員……………		15

ご挨拶

昭和二十一年機械科第一種卒
同窓会会長 寺田郁雄

同窓会の皆さんには、お褒りなく御活躍のこと、御慶び申し上げます。

日頃より会員の皆様には、同窓会活動に御理解を賜り、いつもご協力をお願いしております。

茲に心より厚く御礼申し上げます。

御蔭様をもちまして、会員数も八九七三名となり、いよいよ各支部も充実し、支部長の強力なる御指導のもと、それぞれ活発な活動を行っていただいております。

本年五月二十五日には、高知支部総会が高知会館で開催され、本部からも出席させていただきました、大勢の方々の出席があり、大盛会でした。

又当日には、二十年機械卒業の吉岡豊延さんの建設大臣表章、二十一年機械卒業の岡崎範夫さんの勲四等旭日小綬章受章の御披露があり、出席者全員御双方の栄誉を讃え祝杯を交しました。

ほんとに御目出度いかぎりであり、今更の如く、伝統讀たる我が母校を実感いたしました。

扱て、本年八月十三日、開催いたしました、同窓会総会には、県内外の支部の御協力をいただき、盛大且つ有意義に大会を終了することができました。

又母校の先生方の御來臨をいただき、心からなる激励の御言葉を賜り、一同有難く拝聴いたしました。

先生方の御厚情に對しまして、心より厚く御礼申

し上げます。

当日、電気通信科卒業生の代表より、平成十三年九月十日、高知市内の三翠園ホテルで、電気通信科五十年記念同窓会開催計画の発表があり、電気科外の同窓会員の参加の呼びかけがあり、出席者全員拍手で賛同いたしました。

同窓会は、母校を基点として集ることに意義があるわけであります。

当日の盛會を記念申し上げ、多くの方々の御出席を御願ひ致します。

扱て母校は、例年の如く、三月、多数の先生方の異動がありました。永年に亘り、母校の校長として敏腕を発揮され、須崎工業高等学校の魅力ある学校造りに貢献されました、尾崎校長先生は、この三月、目出度く御定年を迎えられ御退職されました。

茲に、先生の御功績を讃えますと共に、心より感謝申し上げます。

そして母校には、高知工業高等学校の教頭先生として、卓越せる技能と指導力の先生として名声高き橋本俊彦校長先生を御迎えすることができました。

母校の将来を考えると、本心に心強く思う次第であります。

扱て、高知県は、県内の公立高校に對し、その制度の見直しが進められております。

高知県は三年前室戸に総合学科を導入し、本年は高知東高等学校が、総合学科として発足することが確定されている状況であります。

高知県教育委員会としては、工業、農業、商業の枠にとられない今後の方向付けについて、産業教育審議会に諮問し、九月末頃答申がある予定のようであります。

その結果の如何に拘らず、我々同窓会は万全を盡し、母校の存立に努力しなければなりません。

その道は遠く又非常に厳しいものかも知れませんが、忍せにするわけには参りません。

我々の代で、この伝統ある須工の工業の火を消すことはできません。

今後は、より一層同窓会活動を活発に展開し、互に友情の輪を拡げながら、学校当局の御指示をいただき、母校の隆盛に協力申し上げようではありませんか。

終りに臨み、第二十五号会報「にしきうら」発刊に際し、御苦労されました、事務局の先生方並びに関係各位の御尽力に對し心より感謝いたします。

茲に、母校の更なる隆盛と会員各位の御健勝を衷心より祈念申し上げまして挨拶といたします。





ご挨拶

学校長

橋本俊彦

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のことと存じます。日頃は本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

私はご縁がございまして、ご退職されました尾崎前校長先生の後任としまして就任しました橋本でございます。よろしくお願いいたします。

学校の教育活動の後援団体には、PTAと同窓会の二つがありますが、とくに同窓会に對しましては、在校生の精神的依存度が大きく、無言の感化を受けるものです。それだけに、同窓生が会員相互の親睦を図りながら後輩が学ぶ母校の支援体勢づくりにご尽力くださることは、教職員一同の心からの願いであります。幸いにして、寺田同窓会長の統率のもとに、八月十三日には盛大な同窓会総会の成功を皮切りに、我々教職員の期待に著実に応えていただいていることに衷心より感謝いたしております。

卒業生が同窓会に出席したいと思うのは、第一に、母校の先輩から後輩へと受け継いできた伝統や誇りを、在校生がどのように発展させようとしているか、就職や進学の状態はどうか、部活動の活躍状況はどうかなどの母校の現状に対する社会的評価はどんな具

合なのか知りたいこと。第二に、故郷で先輩、同級生、後輩が集まる喜びの中で、しばし現在の境遇を忘れて、それぞれの学生時代のききせぬ思い出を語り合い、旧友を温め、同窓生ならではの助け合い、励まし合いができることです。これら二つの中には、ことばでは言い表せぬ喜びと楽しみがあるからだと思ひます。

一般に人は年をとり、それと共に社会的責任が大きくなると家庭での休息が一番と考えて出不精になりがちですが、同窓会に一度でも出席すると、本当に出席してよかったと思ふものです。同級生の心は、何のわだかまりもなく、純粋に通じ合えるからです。同窓会の盛会は学校長にとりまして、大きな励ましと勇気づけになります。同窓の皆様が、母校須崎工業高校の卒業生であることを誇りに思っている学校づくりに鋭意努力する所存です。

ところで、本校で日頃、造船科生徒たちが学習している工業技術を生かして、地元須崎市の発展に寄与したいとの思いで始めましたドラゴンカヌー大会が今年は七月十六日に浦内カヌーレーシング会場で行われました。応援席も整備され約二千名の観客の応援の中、一千五チームが参加し、盛大に行われ、本校から三チーム参加し、空手道チームが見事五位

入賞しました。このような事業をとおして、須崎工業高校の技術を公開し認められたこと、そして須崎市の街おこしにいくらかでも貢献出来たことは大変喜ばしいことです。生徒たちも艇の製作をとおして、達成感を味わい、将来への自信につながったと思います。その節には、同窓生の皆様にはご寄付やご支援をいただき誠に有難うございました。この大会が益々発展し、やがては全国大会にと期待しております。

最後になりましたが、本校同窓会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

学校の近況報告

教頭 中山護邦

厳しい残暑もやつと過ぎようやく秋らしくなってきました。同窓会の皆様方にはご健勝ご活躍のことと存じます。また、平素は母校教育にご理解とご援助を賜り厚くお礼申し上げます。それでは、母校の近況についてお知らせします。

一 全校生徒数四百名を越える

昨年度に続き、今年はさらに三二名増加しました。各科定員四〇名、全校四八〇名ですが、生徒数は下の表のようになっています。

少子高齢化社会が及び寄る近年、高吾地区において

学 年	1	2	3
機 械 科	40	40	38
造 船 科	40	37	24
化 学 工 業 科	35	37	30
電 気 科	36	35	21
計	151	149	113
全校生徒数	413名		

も中学生の減少が続いております。そのため中学生の確保と中途退学防止に懸命に取り組んでおります。また、生徒やその家庭にとって、より魅力的な工業高校となるよう県産業教育審議会答申をふまえながら学校改革を検討しております。

二 主な学校行事・ニュース

平成十一年度卒業式は三月一日、吉良正人高知県教育長、梅原一須崎市長、寺田郁雄同窓会会長、井上健弘同窓会理事高知支部長、大畠正賢・森岡清元校長、竹村義典元教頭、PTA会長ほか多数のご来賓の出席をいただき挙行了いたしました。同窓会長や県教育長直々の祝辞で祝福激励された機械科三五名、造船科二七名、化学工業科一七名、電気科二〇名計九九名は遅く学舎を巣立っていきました。また、田村武夫京滋支部長役員一同ほか多数の祝詞ありがとうございました。不況の中、就職組もほぼ百パーセント決めて卒業しました。

第五十九回開校記念行事は五月二五日、佐藤秀哉氏（電気科六三年卒業）による記念講演を実施しました。佐藤氏は在学中、ソフトボール部キャッチャーとしてインターハイ、国体に出場し活躍、現在丸亀城西高校教諭として勤務されています。先輩の輝かしい活躍など有意義な話を聴かせていただきました。この後、恒例の各科対抗の綱引き大会があり、今年も造船科チームの圧勝におわかりました。

七月一六日、第二回須崎市ドラゴンカヌー大会は盛大に開催、昨年お知らせしましたこの大会は須崎市の街おこし事業として定着発展しています。本校から三チームが出場し空手部が五位入賞しました。

八月の高校野球県新人戦で本校野球部はベスト八

位と大活躍しました。柳本朋幸監督率いる新チームは窪川高、高知工業高、宿毛高と連破し堂々ベスト八位に入りました。また、ソフトボール部も秋季大会ベスト四位に輝きました。その他も日々練習に励み活動しています。

八月二六日、造船科一年中平悠太君は仁淀川で溺れている中国人高知大学留学生を助け揚げました。すぐに呼吸、脈拍、心音ともに停止状態でした。早速人工呼吸と心臓マッサージを二三分間交互に行い、危機一髪のところ見事に心肺を生かせ一命を取り留めました。中平君ら一年生はこの七月に救急救命法の実技を習ったばかり。このことは高知新聞でも「須崎工生見事な救助」と大きく報道され、高知大学から早速感謝状を贈呈されました。この明るいニュースに学校内は大喜びしました。



感謝状を手に校長室にて 造船科一年中平悠太君

十月二日、第五回体育祭を催します。以前はスポーツ大会でしたが、平成六年より体育祭として実施しています。今回のテーマは「大暴れ」、生徒達がどのような体育祭にするか楽しみです。

三 橋本俊彦新校長着任（教職員的人事異動）

第一六代尾崎翹彦校長が定年退職し、新たに第七代橋本俊彦校長が高知工業高校（教頭）から着任しました。橋本新校長の指導のもと教職員一同母校発展に臨んでおります。

また、四名の先生が定年で勇退されましたが電気科中内裕先生と造船科山崎吉広先生はそれぞれ昭和四〇年、三三年から本校で勤務していただきましたので多くの同窓生には寂しいことと思います。今後益々のご健勝ご活躍を祈念いたします。

退職 尾崎翹彦（校長）

寺尾博晃（国語）

豊永裕代（理科）

山崎吉広（造船科）

中内 裕（電気科）

転出 門脇優至（社会・中村）

南 学（数学・高知北）

林 幸男（機械・東工）

磯元由香（事務・佐川）

転入 橋本俊彦（校長・高知工）

伊藤利恵（国語・四万十）

近藤 卓（社会・岡豊）

沖田将之（数学・新採）

原田昌人（理科・海洋）

森下克仁（機械・宿毛工）

三浦叙裕（造船・新採）

公文雄二（電気・高知工）

長山佳代（事務・窪川）

その他、臨時の先生方も大勢異動になりましたが紙面の都合で近況報告を終わらせていただきます。

進路指導部より

西川 哲夫

卒業生の皆様、常々後輩の就職につきましましてはご指導ご助言を頂きまして心よりお礼申し上げます。

すでに、いざなぎ景気、バブル景気等も死語になり、求職者にとっては、氷河期から超氷河期と言われだして以来、その次の新語が生まれないうまま、数年が過ぎました。

全国的にも生徒数が減少している中で、一九九九年度学校基本調査で、小、中学生の不登校が過去最高の約十三万人となり、深刻な状況が続いています。

一方「フリーター」等と言う新語が数年前に生まれ、今春高校、短大、大学の中で「フリーター」等進学も就職もしなかった数が約二十九万五千人と、不況の影響に加えてどこにも帰属しない傾向も強まっていると発表されておりますが、しかし文部省の調査で一九九九年卒フリーターの高校生は、在学中六四％は就職希望だったにもかかわらず採用されなかったという理由での者が最多で五一％、と雇用状況の悪化を示していると発表されています。

国外ではアメリカの経済の好調が続いていると言われている中で、北朝鮮と韓国首脳会談の実現と

継続やその他の国との国交復交、二十世紀の航空機の夢の超音速旅客機コンコルドの事故、ロシアの大型潜水艦事故、オスタンキノ・テレビ塔の火災、イストラエルとPLOの和解の行方、等結果によっては日本の景気に影響も多大かと思えます。

国内においては、不景気による失業率が六月は四・七％の三百二十万人、有効求人倍率〇・五九倍と総務庁、労働省が発表している中で、三宅島の火山爆発や島民の避難、昨年二月より続けてきた〇金利政策の解除、一九七五年第一回のサミットは第三次世界大戦をしてはならない、との事より始まったと言われています。第二十五回目は沖縄で二十世紀最後の会場として開かれ、IT産業の発展と雇用の拡大をはかり景気を上昇させるとして宣言しました。

しかし先進国アメリカでは、IT産業の発展により、ナップスターシステムが動き出すと、「著作権の問題や映像まで利用され、アメリカでは混乱や問題点も多く出ている」とニュースの中で討論していましたが、そのような事をふまえて日本の今後のIT産業の発展と同時に問題解決や方向性も検討して雇用の拡大をはかつてほしいものです。

又大型食品店の倒産の処理問題、大手食品メーカーへの異物混入事件の多発、銀行、生命保険、自動車、鉄鋼、造船各業界の技術提携や合併による配置換えでの求人の抑制等、求職難は続いております。

そのような中で、経済企画庁は六、七月の「自立的回復に向けた動きが徐々に強まってきている」との表現を八月の月例経済報告では「自立的回復に向けた動きが続いている」と変更、説明によると六、七月の「徐々に強まっている」と「どんどん強まる印象を与えるため」と景気判断の回復の表現を変更

するなど、個人消費が拡大しない事には景気の上昇がみられず、求職難はまだまだ続くと思えます。

県内では、高知労働局の発表で六月の県内の有効求人倍率は〇・四九倍と厳しい状態が続いており、来春卒業予定者の県内高校求人（七月末現在）は超氷河期と言われた昨年の厳しさが続いています。

穏やかな景気回復で大卒一般求人は好転しているが、高卒求人の減少傾向には歯止めはかかっていないし、今春四月卒業の未就職者が出ており、等と発表（八月高知新聞）、本県では来春初の高知工科大学の一期生が卒業するので、本県も工学系大学卒と工業高校卒の競争が始まり、今まで以上に先輩の卒業生に対してのご指導ご助言を頂き雇用拡大のご協力をお願いいたします。

生徒達も夏休み期間を目的達成の為に準備と努力をしてきました。本年も入社試験の出発の日が近づき、無事それぞれの地域に内定しました折には、先輩からの暖かいご支援とご指導をお願いします。

なお表は昨年度迄の地域別就職者数及び本年度受験希望企業先の地域別表、求人状況です。

（九月一日現在）

年 度	8	9	10	11
県 内	56	47	28	43
中・四国	18	22	14	15
大 阪	21	17	11	12
関 西				
東 海	14	13	9	8
関 東	7	7	15	4

大井野へ。もうとつづくに十二時は廻っていた。東京
での一時や二時は珍しくないが流石に窪川のはずれ
では「こんな時間ドロボー以外犬も歩いていない時
間だぞ！」と。中平君はこれから宿毛の……

翌日は春野町平和の別宅に戻り、小さな庭の草む
しりなどしながらゆっくり休養。本当に楽しい土佐
の夏だった。

この総会を開催するに当り骨折り頂いた役員の皆
様には私にとって大変有意義な土佐の夏を頂いた事
に対し心から感謝しています。

「さて、来年も再来年も夏の休みは土佐にするか！」

京滋支部だより

ふんどのしの紐を締め直して

平成十年電気科卒 片岡 純 一

僕は昨年春にタカハシワークス滋賀工場に入社し
ました。本社は大阪で工場はこの滋賀工場の他にア
メリカなどにあり、建設機械等のキャビン（運転操
作室）製造専門メーカーです。

入社以来二ヶ月間、社内外の研修を受け今の職場
に配属されました。工場には境さん、又川さん、そ
して高橋さんの三人の先輩が居り色々教えてくれ
ます。又田村支部長さんも時々面会に来てくれます。

僕はレーザー溶接と言う仕事をしています。鉄板
を溶断しその合せ面を溶接します。すべてコンピュ
ーター操作による自動運転で、機械一基の値段が一億
円以上もするそうです。僕はその機械のオペレーター

です。

今思えば、学校でのコンピュータ等の基本授業
が非常に役に立っていると思っています。

同窓会の京滋支部総会は二ヶ年に一度あり、今回
は入会記念としてお祝いにベルトを戴きました。京
滋支部伝統の「ふんどのしの紐を締め直して頑張れ！」
と言う先輩達の暖かい励ましに應えるよう、今後も
頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。

住所 千五二〇二五六一 滋賀県竜王町須恵一〇六一

タカハシワークス 独身寮

携帯電話 090-4331-6401

同級生の皆さん電話か手紙を待っています。

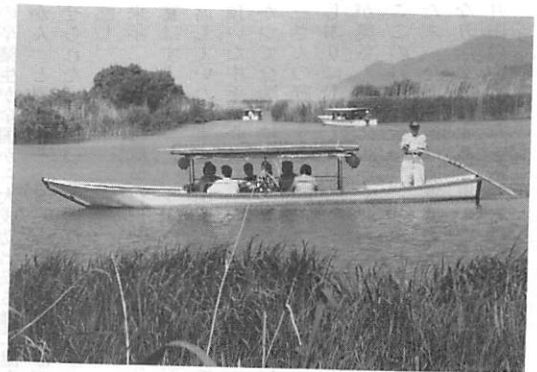
京都、滋賀においでヤス！

京滋支部では今年も、スポーツやレジャー等の行
事を開催して参りました。年を追う毎に参加者も増え、
京滋支部の皆さんの他に御家族や会社の友人、そし
てこの「にしきうら」を見て全国各地からの参加者
も有り、懐かしく又楽しい一日を過ごしました。

支部総会以外の行事はこの様に自由参加です。平
成十三年度行事も次の通り決定しました。京滋支部
の皆さんを始め多くの方々の御参加をお待ち致して
おります。

参加の申込みはハガキ等に、参加希望の行事名を
書いて早め（後記の事務局迄送って頂ければ、行事
開催日の一ヶ月前に改めて詳細案内状を送ります。
都合で不参加の場合はその時にお知らせ下さい。

尚行事案内は前回から、この「にしきうら・京滋
支部便り」に統一致しましたので、京滋支部の皆さ
んも、この申込み方法に準じて下さい。



屋形船にて琵琶湖水郷めぐり

◎平成十三年度行事案内◎

一、新緑の嵯峨野トロッコ列車と
嵐山、湯豆腐会席料理

日時：五月二十七日（日）午前九時～

コース：JR京都駅集合→JR亀岡→トロッコ列
車→嵐山にて京都名物、湯豆腐会席料理
嵐山名所散策

会費：女性と三十歳迄の男性 五千八百円
三十歳以上の男性 六千三百円

二、ゴルフ大会

日時：七月一日（日）午前九時～

コース：恒例の琵琶湖大橋ゴルフコース

会費：一万六千円

プレー費、賞品代、会食費、写真代。

過去 3 年間の進路状況

○地区別就職先(人数)

○進路状況の推移

年度	生徒数	進 学	就 職		その他
			県 内	県 外	
9	128	22	47	59	0
10	105	28	28	49	0
11	99	17	43	39	0

○本年度並びに過去 2 年間の求人状況 (会社数)

地域 年度	関西 大阪	東 海	関 東	中・四国	県外5地域 合 計	県 内	計
10	143	58	85	55	341	72	413
11	81	23	45	40	189	55	244
12	60	23	34	36	153	42	195

地区	年度別	11年度就職希望者数	12年度就職希望者数
		関 東	東 海
関 東	東 海	4	5
東 海	関 西	8	6
関 西	大 阪	12	10
大 阪	中・四国	15	20
中・四国	高 知	43	33

関東支部だより

2000年故郷での夏休み

堀 内 靖 博

故郷という言葉が気になって仕様がな。故郷への想いは皆それぞれだと思うが。東京に出て来て三十年が過ぎやばり年をとってしまった証拠かも知れん。昨年一月までの一年半高知で生活していた時は、あまり感じなかったが遠くから見ると故郷は本当に美しい。慌ただしい都会とちがいが何だか時がゆっくり流れている様に思え、余計に懐かしさを感じてしまう。先輩であるS三十三Tの画家、野並允温さんの絵も七、八年前まではネパール・ヒマラヤの絵が多かったが最近の絵は高知の景色が多く描かれている様に思う。(私は野並さんの古里越知の大樽の滝の絵が特に好きだ)。今年も八月に高知大丸での個展は沢山の人が訪れて美しい見事な絵に見入っていた。(昔、想いは同じか)同窓会：何で四十年も大昔のたつた三年月が、これ程自分の脳裏に焼きついてるのだらう。社会に出てからの三年間などどこを切り取ってもこれ程の思い出や印象深い所はないのに。

今までの私の人生には素晴らしい人が沢山居てくれた。その中には、もちろん先生方も。特に須崎工高ではいろいろ先生の授業があり又話し合ひの場が。その旨動は親以上に私の人生を決定づけてしまう教育であった。厳しい事をいつも言っていたが形式で縛らずに教える方も良かったのではないだろうか？(教わり方は決して良い態度ではなかったかも知れないが皆が素晴らしい素直さを持ち合わせていた様に思う)。

その母校より「同窓会本部総会が八月十三日に行われるので……」の通知を頂いた。

「涼しい北の国で今年はお盆休みを」の予定がメチャメチャ暑いよさこい祭り後の高知での休暇となった。

関東支部からも野瀬先輩S三十三T堀口先輩S三十三T山本(治)さんも参加。高知からはS三十三T森木林さんS三十三T佐竹さんも。一昨年の総会では丁度中土佐町に居たので参加させて頂きました。そのお陰で顔見知りの先輩、後輩も多く今回は気楽で楽しい会合であった。中でも私は特に西佐川で部落が隣に尊敬する先輩S三十三Tの矢野保照(通称ヤッチャンさん)に会う事が出来お話をさせて頂いたのは事の外嬉し限りでした。この大先輩達が来年九月十日電通科創立五十周年の記念の総会を行うとの事「須工の全科の卒業生が全国から大成功出来る様に協力せんといかん」と思う。そのS三十三Tの勢いにはびっくりさせられた。「凄いや何だあのパワーは！」という感じ。

◎来年二十一世紀最初の年高知へ集合しよう！

冥はすみあつという間の楽しい時間であった。同席していた関東支部山本(治)さんと宿毛から来て頂いた中平要介君の三人で須工で同じクラスだったかつて全国高校相撲で個人戦優勝を二度した中川健三さんの経営する須崎市西古市町「焼肉一力」に久しぶりに寄ってみた。突然の訪問でびっくりさせたが奥さんと共に暖かく迎えてくれた。(いつ来てもこの料理は旨い)。さんさん飲み食いさせて頂いた末「全て勘定は店主持ち」という事で、御馳走になり店を後にする。車の中平君は全く酒は飲まず仁井田の山本さんを送り次は私、家内の実家窪川町

三、紅葉の名所、京都の貴船川、鞍馬山ハイキング

日時：十一月十八日（日）午前九時

コース：JR京都駅集合（近くの方は、貴船口駅）叡

山電鉄、貴船口駅、紅葉の貴船川、貴船神社

、鞍馬山、鞍馬神社、鞍馬温泉にて、露天風呂

入浴後昼食、京都の洛西、名所見物。

会費：（貴船口駅迄の交通費を除く）

女性と三十歳迄の男性 四千元

三十歳以上の男性 四千五百円

参加申込み先

〒610-0040 滋賀県水口町貴生川610016

電話・FAX 0748-16214320

橋田 昌和（京滋支部事務局）

大阪支部だより

防災人の思い出

昭和四十三年化学工業科卒

西森 廣利

同窓会の皆さまには、益々ご健健で各分野にて活躍のことと拝察、お慶び申し上げます。

七月の大阪支部役員会で、下村支部長より突然の執筆依頼に戸惑いはしたものの先輩役員の励ましにより、乱筆ですが引き受けることにしました。

私が卒業した昭和四十三年当時は、現在の様な就職難と違い高度経済成長時代で全員県内をはじめ関東や名古屋方面へ、とりわけ関西には多くの卒業生が就職してきましたが帰郷及び転職等で関西を離れ、現在三十名程が在住しています。

ところがなかなか会う機会はないと思っていたところ、

大阪支部役員の井上博氏（機械卒）が「関西在住の四十三年卒業生が集まって、高校時代の思い出話を肴に酒でも飲むか、卒業以来今まで集まったことがないがどうせよ」と相談があり、私は至って酒は嫌いではないが計画に賛同、平成十二年は大阪支部の懇親会が京都府亀岡市で開催されるため平成十三年春（二月頃予定）にと井上氏が計画をしていますので、四十三年卒の皆さん春に酒でも飲むようではありませんか。

私事で恐縮ですが、現在茨木市消防署で主に救急救助関係の仕事をしています。

職員二百三十名の中に同窓生はもちろん同郷の者も居らず寂しい思いをしていましたが、二年前の十月に土居孝平という前途有望な若者が大阪府立消防学校の初任科を修了し私の所へ配属になった。

彼の履歴を調査していたところ、本籍が高知県中村市と書いてあったので「生まれは中村市か」と聞いたところ、「父の本籍が中村市です」と答えたので「お父さんの出身高校はどこや、中村高校か」と聞いて返すと「出身は須崎市で、須崎工業高校の電気科に通っていたそうです」と答えたので私はびっくり、親近感を覚えるいろいろ聞いてみると、職場の上司が「西森！後輩の息子が入って来るとは、おまえも歳やなあ」言われ、後輩の息子が入って来て嬉しいやら、歳をとり情けないやら複雑な気持ちでありました。

（土居孝平は昭和四十八年卒・土居典史氏の長男）

消防職員になり今まで最大の災害は、平成七年一月十七日五時四十六分に発生した阪神淡路大震災であり、今まで経験した事のない災害でありました。

震災当日私は職場で仮眠中で、突き上げる様な大きなゆれで跳び起き、すぐ職場の被害調査していたところ、救急出場指令が出され出場した。

救急無線に入ってくる情報では、八台ある救急車が全車出場し、消防車両はガス漏れ警戒や火災で出場し活動している情報が入ってきており、指令室（一九九番）を受信し、消防車両等を統括する場所の混乱が伺われ、部下の隊員に気を引き締めるよう指示、災害の大きさを痛感しました。

負傷者を救急車内に収容し応急処置後、車載携帯電話で搬送先病院の手配を行いました。なかなか電話が通じないため直接救急病院に向かい、負傷者を収容したが地震による負傷者が多数のため収容後すぐ次の救急出場指令が入り、七、八件連続出場し、消防署に帰ってきたのは十二時近くになっていました。職場のテレビを見ると、神戸市内で発生している火災により黒煙の上昇と倒壊家屋も放映されていたため自宅が気になったが電話が通じず、状況は帰宅するまで全くわからなかった。

十四時頃帰宅したところ、免小屋の自宅の壁はあちこちで崩壊しており、後で修復のための手痛い出費がかさみました。

翌日神戸市に伝呼出場指令が出され、水槽付ポンプ自動車（通称タンク車）で出場したが、国道を西に行く程建物倒壊が多くなり、車の渋滞や建物の倒壊で思うように走れず、また神戸市内の火災現場が広範囲と水道管の破裂等で消火栓が全く使用不能で、消火活動及び救助活動がほとんど出来ず困惑したことが思い出されます。

昔から地震・雷・火事・親父と言うことわざがあり、今では親父は値に落ちたものの、地震や火災は大きな被害をもたらす、何時発生するかわかりませんので同窓会の皆様に「火の用心」を訴え、母校の更なる隆盛と同窓生の皆様方のご健康とご活躍を祈っています。

『電気通信科設置五〇周年』

記念同窓会のお知らせ

須崎工業高等学校に、かつて電気通信科が有りま
した。電気通信科は半世紀前の一九五二年の春に設
置されたのです。

日本経済は今よりもひどい不況のどん底でしたが、
生れたばかりのテレビ時代の発展と共に、四九八名
の卒業生を世に送り出して十二年間で役割を終えた
のか幕を下ろし今の電気科に変わってしまったのです。

卒業して四十七年になりますが、「イトー」「ロボー
ノート」「ハーモニカ」に始まるモールス信号が耳
の奥に残っています。

しかしモールス信号による通信世界は、新しい電
波の波でかき消されて世の中は、ファクシミリ、
Eメール、ワープロやパーソナルコンピューターか
らインターネットさらにはデジタル通信、放送化へ
と発展して来しました。

この電波革命こそがかつての産業革命をしのぐ程
の社会変革として、人類全ての生活を根底からくつ
がえすものとなったのです。

これから迎える二十一世紀へ、その先駆的学問を
学んだ事を大事にしたいと思います。

今は無き電気通信科の学窓に思いをはせながら、
青春の血潮をたぎらせた「校内対抗競技会」の思い
出やクラブ活動、生徒会や文化祭での出来事など、
また諸先生との思い出などを語り尽しましょう。

第一期生(昭和三十年卒業)を中心として実行委
員会が組織されました。

しかしこの大集会を成功させるには充分とは言え
ません。

この「にしきうら」をお読みになった皆さんがさ
らに同窓生に声をかけて頂き共に参加頂けます様お
願い致します。

皆が大学へ進学して、ホワイトカラーになり生産
社会を軽視して来たので住みにくい日本になった気
が致します。

これからは専門学校や工業、農業などの高校が見
直される時代が又来るだろうと確信しております。

しかし時代は少子化が進んでいます。母校が併合
されたり無くなる危険はまだゼロとは言えないでし
ょう。こうした背景の中で同窓会活動を活発にするこ
とは大きな意義があると思います。

平成十二年八月十三日、須崎市大間のJ A会館で
開かれた本部同窓会総会にもはかり同窓会上げてこ
の成功のために取り組むことが決まりました。

財団法人「高知コンベンションビュロー」に支援
を御願いし、高知県内は勿論日本全国で御活躍の皆
様が是非御夫婦で、多数御参加下さる様御願い申
し上げます。

この事業の実行にあたり寺田会長をはじめ多くの
諸先輩に御指導、御支援を仰ぎ心良く御承諾を頂い
ております。

このような全国規模での同窓会は、須工始まって
以来、最大で最高の祝宴になるものと確信しており
ます。

どうか同窓会員の皆様方の御協力を心より御願い
申し上げます。

事業計画及び実行委員会の組織等

☆事業計画

一、祝賀会

日時：平成十三年九月十日(月) 午後六時～八時
会場：三翠園(高知市鷹匠町)

電話 〇八八(八三三) 〇一三二

会費：一万円(女性 家族は八千円)

尚、三翠園の御利用について、大会前日の九日よ
り十二日までの間は特別料金で次の通りです。

九月十日

一泊朝食の場合(夕食抜き 宴会のため)

シングル(二室一名) 九千円

ツイン (二室二名) 九千円(二名料金)

相部屋の方 八千円

(税金・サービス料共)

九月九日・十一日・十二日

一泊二食の場合

シングル(二室一名) 一万三千円

ツイン (二室二名) 一万三千円(二名料金)

相部屋の方 一万二千円

(税金・サービス料共)

したがって高知観光を兼ねて御参加下さるのも良
いでしよう。

二、母校への記念事業

植 樹

三、ゴルフコンペ

日時：平成十三年九月十一日

(詳細は案内書でお知らせします)

★顧問をお引受け頂いた方々（敬称略）

18年M：田辺博造・竹村昌孝・清家 寛
20年M：吉岡豊延 21年M：森下春茂
25年M：加藤美代治 26年M：森岡 清
27年M：井上 健弘 28年S：岡林幸保
32年M：中西 安男 41年C：林 和夫

★御支援下さる各支部長（敬称略）

関東支部長 堀内清博 高知支部長 井上健弘
中京支部代行 沖 良二 須崎支部長 山地健三
京滋支部長 田村武夫 窪川支部長 川添 泉
大阪支部長 下村 昇 幡多支部長 松浦政志

★卒業年次世話人（敬称略・各担当地域別）

◎東日本

30年M 星野 正 旧〇四五（四八一）〇九〇五
31年T 野瀬公介 旧〇四二六（三三五）九三〇〇
32年T 津野守正 旧〇四三二（二七九）二九六一
33年T 横山治宣 旧〇四七四（七五）六七七〇
34年T 岡田慶助 旧〇四六八（四九）五九八〇
35年M 堀内清博 旧〇三（三六三八）四七六三
36年T 田井信洋 旧〇二九八（七三）九三三五
37年T 楠瀬良生 旧〇四二四（九四）一五三六
38年T 逸見悦子 旧〇四三六（二〇）六四八〇
39年T 刈部幸子 旧〇四二（七八〇）一七二三
40年T 今橋和義 旧〇四五（三六）七九八五
41年T 山崎尚英 旧〇四四（九八八）二〇一九
42年T 田村正志 旧〇四七五（三二）二三四〇

◎西日本

30年T 光森克司 旧〇七九七（三一）六八八二

31年T 西田義照 旧〇七四四（二五）二二五五

33年T 箭野六男 旧〇七二七（七七）三四〇一

34年T 長山彦彦・明英 旧〇七四五（四八）四七二二

35年T 渡辺信男 旧〇七四二（四六）三八九〇

36年T 山崎 隆 旧〇七二六（二五）一三二九

40年T 浜崎満良 旧〇六（六八五〇）〇一〇五

◎四国・九州

30年T 矢野保照 旧〇八八（八六六）四六三八

32年T 植田幸子 旧〇八八九（四二）四二一五

33年T 大川信治 旧〇八八（八四三）三七七四

34年T 西森昌身 旧〇八八九（四二）五三六〇

36年T 森木茂雅 旧〇八八（八四七）一七一

37年T 下元征夫 旧〇八八九（四二）一四四八

39年T 山中弘志 旧〇八八（八四三）一四四一

42年T 林 哲 旧〇八八（八三三）七〇〇一

★実行委員会の任務分担

◎代表世話人

総務担当 安並流吉 旧〇八八（八四七）四八二六

〒七八一〇二二 高知市仁井田三五〇四

東日本担当 松本四郎 旧〇四七一（八四）七六二二

旧〇四七一（六九）八三三三

〒七〇一二六四 我孫市つくし野一七七一五

西日本担当 野並允温 旧〇六六三四（五九）六二

〒五六六〇〇五 摂津市新在家一九一十

四国九州担当 矢野保照

旧〇八八（八六六）四六三八

〒七八三〇〇一 南国市岡豊定林寺二二三

◎実行委員

片岡 淳 旧〇八八九（二二）五二二一

高山 三郎 旧〇八八九（四二）一三三八

筒井 賢明 旧〇八八九（二二）三〇七二

細本 芳文 旧〇八八（八三三）三五一四

山本 弘 旧〇八八（八四一）〇〇一八

横畠 幸一 旧〇八八（八六六）二七二二

和田信一郎 旧〇八六四（二九）一七五九

上田 善右 旧〇八八（八三三）五〇二五

★経過と取り組み

平成十一年九月に三十年卒十三名で立上がり一年が過ぎました。「にしきうら」前号で第一報を流し、今年本部総会でも同意を頂きました。

その後毎週事務局会議を開き、本部より頂いた住所録を基に作戦を開始しました。案内状や参加申込書は平成十三年六月に発送させて頂きました。

皆様方の来年のカレンダーに九月十日は高知市の「三翠園」と記入して頂き、「俺もいくが、おまんもいかなきゃ」などと口コミで御参加の輪を広げて下さるよう御願い申し上げますと共に皆様方の御多幸を心より御祈り致します。

事務局

〒七八一〇〇一〇

高知市薊野七六一番地

（株）品原建築設計事務所所気付

旧〇八八（八四五）二七七四

旧〇八八（八四五）五八五五

秋山正元（実行委員長）

高知支部だより

母校創立六十周年を迎えるに当たり

昭和二十七年機械科卒

支部長

井上 健弘

環境問題の災いか、天候不順の本年でありました。九月の大雨による中京支部の方々、並びに何らかの被災を蒙られた皆様に遅ればせながらお見舞を申し上げます。

一年の、あるいは十年の経つのは早いもので新年を、また母校創立六十周年を迎えることになりました。その間全国の皆様には益ますご隆盛のこととお喜びを申し上げます。

高知支部も毎年五月二十五日の開校記念日に、県庁前の高知会館にて支部総会を開催しておりますが、ここ二年だけを見ましても今迄の功績や業績を讃えられた方が続けて出られました。ちなみに昨年は、二十六年卒業の上田泰生氏が黄綬褒賞を、同年卒業の元母校校長の森岡清氏が文部省の推挙によりナイロビの産業教育振興の長期派遣から帰国、更に本年は、二十一年卒業の岡崎範夫氏が勲四等旭日小綬賞、二十年卒業の吉岡豊延氏が建設大臣より感謝状を、と朗報が続きました。

ご本人の並々ならぬご努力に敬意を表しながらも、同窓会一門の名譽であり、誇りとさせて頂きたいと存じます。高知支部総会の席上でも記念品を贈り、お祝いを申し上げた次第です。

さて目前に二十一世紀、二〇〇一年が迫って参りました。同窓会としてもこのミレニアムを節目

になにか目論みジャンプを図る必要を感じるものがあります。そして陥りがちなマンネリを打破し、会の発展のため活力を求めたいと思います。

ときあたかも創立六十周年と時期を同じくして、電気通信科が発足して丁度五十周年を迎えることになります。

その後、年を経て諸般の事情により現在は無くなってはいるものの卒業生は現在迄存在しておれば、IT革命の花形的価値を醸し出したのに、と悔しがって居るところです。

そこでこの度、高知支部在籍で支部発展のため活躍して下さっている三十年電気通信科卒業の秋山正元氏をプロモーターとして一大イベントを展開したいとの申し出をご本人及び幹事の方から受けました。かれこれ発想から二年近くなうかと思ひます。

その間十三名の発起人及びセンターマンの情熱は凄いいもので肌にしひしと感じ取れ一歩一歩実現に向かって邁進しております。本年五月の支部総会、八月の本部総会でも出席された皆さんに訴求し、賛同を得た次第です。

高知支部としても当然その情熱に應えてゆかねばならないと応援態勢をとって居ります。

詳しくは本誌に別掲載されておりますのでご熟読の上ご理解とご賛同戴き、どうか行事にご参加賜わらんことを願っております。

勿論対象は電気通信科に限られず、機械科や造船科はじめ、総ての学科の卒業生であり、全国の同窓生とご家族と言うことです。

その集いの中で電気通信とITについて語られるもよし、学窓への回顧も佳し、大いに同窓会を満喫して欲しいと念じております。

そしてその流れが、また膨らみが二十一世紀の我われ須崎工業高等学校同窓会、並びに母校の発展に繋がってゆくことを大きく期待いたします。末筆になりましたが、全国の同窓会員の皆様のおすすめのご健勝とご活躍をお祈り致します。



写真は本年五月の支部総会参加者です。

事務局便り

会員の皆様、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

初めに本年三月に平成七年四月より五年間お世話をしていただきました尾崎翹彦先生が退職され後任として橋本俊彦先生が赴任されました。また昭和三十三年四月より四十二年間須工並びに同窓会発展のためにご尽力をいただきました、造船科山崎吉広先生が退職されました。皆様にご報告いたします。

本年五月二十五日には、五十九回の開校記念日を迎えました。記念行事として、卒業生による記念講演、各科対抗綱引き大会を催しました。

講師として昭和六十二年電気科卒・佐藤秀哉氏に「クラブ活動の有意義性」をテーマに講演をお願いしました。佐藤氏は、昭和六十年入学後ソフトボール部に入部し一年生ながらもレギュラーとして石川インターハイ(全国大会)、二年次は山梨国体、三年次には沖縄国体に出場と大活躍されました。その後、中京大学体育学部に進学し大学時代も活躍され、卒業後は香川県に高校教員として採用され、現在は丸亀城西高校に体育教員として赴任されています。部活動は女子ソフトボール部を指導しインターハイ・国体にと数度出場させています。クラブ活動での経験を通しての苦しみ・楽しさ・励み・仲間との和等、自分の人生に大きく役立つかについての内容の講演でした。

母校でもクラブ活動に参加している生徒は、全体の1/3です。今の子供の特徴として、しんどい・疲れることは嫌、うるさく言われることは嫌等、汗をかくことを本当に嫌います(このことが会社にお

いての定着率に影響し、就職にも大きく影響しています)。

講演は、現在頑張っている部員達、入部をためらっていた生徒にとっても有意義な講演でした。改めてお礼を申し上げます。

この後の綱引き大会も盛大に行われ造船科が三年連続の優勝となりました。

七月十六日には母校造船科が須崎市発展のために九艇贈呈して行われているドラゴンカヌー第二回大会が兵庫県相生市の参加も含め総勢二十五チームの参加で開催され、母校からも三チーム参加し五手部チームが五位に入賞いたしました。会場には、各地域・職場チームまた応援の中に同窓生の顔が半数以上見え、和やかに且つ盛大に催されました。

八月十三日には二年に一度の総会がJ.A土佐くろしお(須崎市)にて、母校校長橋本俊彦先生・教頭中山護邦先生・化学工業科多田和子先生を来賓に迎え、一一名の参加(予定参加一七七名)で開催されました。

この席で前関東支部長・野瀬公介氏に事務局のコンピュータ更新に際し、機種決定並びにデータ移設に関して、猛暑にも関わらず関東よりわざわざ三回も来校下さりしかも手弁当でご尽力いただきました。このことと関東支部の発展に対しての労を合わせて特別功労賞の表彰を行いました。総会の議題・決定事項は次の通りです。

1、平成十・十一年度の事業報告

及び十年年度総会報告(承認)

2、平成十・十一年度の会計・監査報告(承認)

3、規約改正 同窓会会則

第四章 第六条

本会に次の役員を置く。

会長一名・副会長三名(内一名は本部事務局長を兼ねる)・会計一名・常任理事若干名・監査二名

——の部分を左記のように改正する。

副会長四名(内二名は母校教頭・事務局長)

改正年月日 平成十二年八月十三日

4、役員改正

支部長 就任 堀内靖博 S36機 械 関東支部

退任 野瀬公介 S31電気通信 関東支部

新役員 聖賢 中山護邦 母校教頭

理事 野並允温 S30電気通信 大阪支部

堀内靖博 S36機 械 関東支部

沖良一 S39機 械 中京支部

(中京支部長海外赴任のため代理)

新役員の皆様方宜しくお願いします。

退任 常任理事 高橋三雄 S32機 械 平塚至平機

植田幸子 S32電気通信 平塚至平機

山崎吉広 S33造 船 平塚至平機

理事 中平萬年 S16機械二種 須崎支部

山田 豊 S21機械一種 大阪支部

野瀬公介 S31電気通信 関東支部

江口長頼 S33機 械 高知支部

退任されました皆様には、母校発展並びに同窓会活動にご尽力を賜りまして誠にありがとうございました。

会長を初め他の役員については、留任となりました。

(承認)

5、平成十二年度事業計画並びに予算(承認)

6、その他

①同窓会名簿製作について

平成十三年度は、創立六十周年になります。
平成三年に五十周年事業として同窓会名簿を製作して十年に達します。十年の節目として不明者の究明も合わせて、左記会社に委託して製作することに承認されました。

株式会社「廣済堂」岡山営業所

②電気通信科五十周年記念事業について

平成十三年には、電気通信科が昭和二十七年に開設されて五十年を迎えます。発起人代表の秋山正元氏より、記念事業の説明、ご案内がなされました。詳細については、会報に掲載されています。科を問わず参加できますので、お繰り合わせの上、ぜひの参加をお願いします。

③支部配分金について

本年度の理事会において、人数の少ない支部においては配分金が少ないので支部活動が困難を極めている、現行の配分方法を見直してはのご意見がありました。事務局で検討して十三年度理事会に具体案を出し審議する。(報告)

④総会の服装について

若年層が気軽に参加できるように、平服(ノーネクタイ)にしてはいいかがでしょうかとのご意見があり、賛同する声がありましたので平成十四年度の総会は平服でお願いします。
総会終了後懇親会が二十一時頃まで盛会に行われました。校歌も音頭取りが若者と年輩と二回も合唱しました。

次回の総会は平成十四年です。よさこい高知国体の年でもあります。母校及び母校出身選手の応援を兼ねて、ぜひの参加を宜しくお願いします。

同窓会終身会費納入の お願い

同窓会の運営は、会則第7章会計、第21条に基づいて、会員の皆様からの入会金、会費、寄付金を持って充てていますが、その中でも卒業生からの終身会費が、主な財源となっています。

事務局におきましては、納入いただきました終身会費を積み立て、その利息で、活動資金の大半を捻出しています。

この実情にご理解戴き昭和53年以降の卒業生は、卒業の時点ではほとんど納めてくれていますし、平成4年以降の卒業生は、卒業時全員納入いただけるはこびとなっています。

終身会費未納の皆様方には、(会報の中に郵便振り込み用紙をはさんでいます)同窓会活動を今後とも益々発展さすため、是非とも早い時期に終身会費を納入下さいますよう、ご協力お願い致します。平成8年8月の総会にて終身会費の値上げを決定いたしました。1万5千円を納入下さい。

電気通信科 創立50周年記念 祝賀会のご案内

昭和27年に電気通信科が創設されて、平成13年には50周年になります。記念行事並びに祝賀会を下記日程で開催しますので、同窓会の皆様にご案内申し上げます。(電気通信科以外の方も受付けています。お誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。)

年月日 平成13年9月10日(月)

時間 午後6時より

場所 三翠園(高知市鷹匠町1-3-35 電話088-822-0131)

会費 10,000円(女性・家族は8,000円)

御夫婦でのご参加大歓迎です。

尚、問い合わせ・詳細については、本会報のP8～P9をご覧ください。

須工同窓会高知支部総会のご案内

【恒例によりまして、いつもの処で、いつものように開催します。】

日時 平成13年5月25日 18:00より(母校開校記念日)

場所 高知会館(県庁前電車道南側 電話088-823-7123)

会費 一般¥5,000

平成11.12.13年卒業生と女性 ¥3,000
(記念写真代は不要)

老いも、若きも、女性・男性にかかわらず多勢の皆さんのご参加をお待ちしております。高知支部以外の方のご参加もお待ちしております。

支部長 井上健弘 電話(088) 872-5075

終身会費納入済者名 (平成11年度分)

ご協力に感謝とお礼を申し上げます。

井江江岡小高竹種津橋濱浜細宮明電	上口瀨田野野橋中田野田田田木崎神科	直美晃 拓圭祐靖浩明直真拓	裕哉沙治賢也介貴之史典人人郎忍央	濱福本松明矢山山山吉	田留田下神野岡中本原科	昌 祐純和裕孝 光正	通京一也幸司明明博太	化学工業科 高橋洋太郎 ＜昭和46年＞ 機械科 村田宗義 嗣雄 電 氣 林 康 明	＜昭和29年＞ 機 械 科 北岡徳夫	＜昭和30年＞ 造 船 科 伊 藤 純 夫	＜昭和31年＞ 電氣通信科 武 市 祐 三	＜昭和33年＞ 電氣通信科 竹 内 一 久	＜昭和34年＞ 電氣通信科 宮 本 隆 寛	＜昭和35年＞ 電氣通信科 津 野 文 明	＜昭和36年＞ 機 械 科 武 市 弘	＜昭和37年＞ 機 械 科 柏 原 忠 光 電氣通信科 横 山 政 幸 藤 本 勝	＜昭和38年＞ 化学工業科 中 田 博 三	＜昭和43年＞ 電氣通信科 氏 原 憲 明
	池池伊岩大岡川北北吉戸戸中西西羽坂森矢吉	聡浩武高博 宏二秀友文 利史恭善 直健	司二志幸宣剛典朗典行人正伸浩記規智洋人士	稲井今大大片堅黒笹高高高竹竹駄永中西野橋弘松丸森山横横	村上城崎崎岡田川岡野橋橋内内場野村村地田田本岡光中島島	健太郎尊文人司蔵宏豊文士政史雄聡稔平等倫志久介寿昭幸勝規規	田留田下神野岡中本原科	池井梅江大太岡岡尾片川久笹島下須高竹谷田佃中中西濱										

平成11年度一般会計決算報告書

単位(円)

項目	金額	備考
収入		
前年度繰越金	40,740	
新入生入会金	296,000	2,000円×148名
定期預金利息	128,858	
普通預金利息	1,126	
雑収入	4,723	森岡氏旅費分寄付
特別会計補助	2,290,000	
合計	2,761,447	
支出		
会費	55,510	理事会・その他
事業費	35,431	開校記念品代
	446,250	会報印刷代
	588,263	会報送料
	30,450	タックシール代
	16,800	卒業証書用丸筒代
	59,327	プリンター修理・カートリッジ交換
	14,260	MOディスクフロッピー
通信費	32,045	
事務費	10,120	
旅費	127,500	
	323,503	
支配分	789,800	
雑費	2,834	
予備費	0	
合計	2,532,113	
平成12年度への繰越金額	229,334	

平成11年度特別会計決算報告書

項目	金額	備考
収入		
前年度未累積立額	34,510,000	
平成11年度納入額	1,485,000	15,000円×新卒99名
	255,000	15,000円×旧卒17名
合計	36,250,000	
一般会計へ補助	2,290,000	
合計	2,290,000	
平成12年度へ累積立額	33,960,000	

監査報告

帳簿及び証書類等により監査の結果、金額その他については相違なく、預金通帳、定期預金証書とともに簿契に管理適正に執行されています。

平成12年4月14日

監査人 坂本 豊

坂本 豊

【収入】 平成12年度一般会計予算(案)

項目	金額	備考
前年度繰越金	229,334	
新入生入会金	302,000	2,000円×151名
定期預金利息	98,400	
普通預金利息	1,266	
雑収入	0	
特別会計補助	2,100,000	
合計	2,731,000	

【支出】

項目	金額	備考
会費	60,000	理事会・その他
事業費	50,000	開校記念品代
	500,000	会報印刷代
	600,000	会報送料
	40,000	タックシール代
	35,000	卒業証書用丸筒代
	20,000	プリンター修理・カートリッジ交換
	22,500	MOディスクフロッピー
通信費	35,000	
事務費	35,000	
旅費	100,000	
	350,000	
支配分	金	
〔777,400〕		
一般会計へ補助	100,000	
雑収入	10,000	
予備費	3,100	
合計	2,731,000	

平成12年度特別会計予算(案)

項目	金額	備考
収入		
前年度未累積立額	33,960,000	
平成12年度納入額	1,755,000	15,000円×115名
	225,000	15,000円
合計	35,940,000	
一般会計へ補助	2,100,000	
合計	2,100,000	
平成13年度へ累積立額	33,840,000	

平成12年度 役 員 名 簿

役 職	氏 名	卒コード	科 別	備 考
相談役	田 辺 博 造	1S18-013	機械 2 種	
〃	清 家 寛	1S18-010	機械 2 種	
〃	森 岡 清	1S26-020	機 械	
名誉会長	橋 本 俊 彦			
会 長	寺 田 郁 雄	1S21-025	機械 1 種	
副会長	岡 林 幸 保	1S28-038	造 船	
〃	下 元 征 夫	1S37-129	電気通信	
〃	中 山 護 邦			
〃	津 野 隆	1S41-090	造 船	
常任理事	森 下 春 茂	1S21-019	機械 1 種	
〃	武 内 徳 雄	1S23-034	機械 2 種	
〃	井 上 健 弘	1S27-002	機 械	
〃	井 上 耿 介	1S39-004	機 械	
〃	山 地 健 三	1S39-180	化学工業	
〃	西 森 昌 身	1S34-121	電気通信	
〃	竹 崎 貞 男	1S43-040	機 械	
〃	西 山 庸 一	1S48-090	造 船	
理 事	川 添 泉	1S21-012	機械 1 種	
〃	廣 瀬 理	1S21-029	機械 1 種	
〃	吉 村 功	1S21-081	機械 2 種	
〃	竹 内 良 一	1S25-014	機 械	
〃	坂 本 臣 三	1S25-009	機 械	
〃	野 並 允 温	1S30-080	電気通信	
〃	中 西 安 男	1S32-023	機 械	
〃	松 浦 政 志	1S35-065	機 械	
〃	堀 内 靖 博	1S36-061	機 械	
〃	沖 良 二	1S39-013	機 械	
〃	笹 岡 文 子	1S39-157	化学工業	
〃	竹 田 友 一	1S42-042	機 械	
〃	梅 原 正 博	1S47-116	化学工業	
〃	坂 本 定 浩	1S54-009	機 械	
会 計	山 岡 英 樹	1S57-034	機 械	
監 査	坂 本 操	1S43-030	機 械	
〃	西 森 豊	1S45-151	電 気	
支部長	下 村 昇	1S24-055	機 械	
〃	田 村 武 夫	1S29-050	造 船	
〃	沖 本 毅	1S33-012	機 械	

校歌

- 一、須崎工業高校の
教の庭に身と心
新天新地光明の
輝やくもとに勇ましく
日々鍛いぬく健児団
- 二、自然の暗示わが教
大平洋の荒波は
わが人生の活動か
さらに心の平穏は
波静かなる錦浦
- 三、工業報國理想とし
自主独立の精神を
いだき責務を怠らず
真理と正義重んじて
わが向上の道を逐う

新聞広告の依頼（協賛金） にご注意下さい。

最近、須崎工業高校〇〇周年
記念等の新聞広告を出すので、
協賛金をお願いしたいとの勧
誘がありますが、学校、同窓
会では、一切そのような広告
は出しておりませんので、お
断り下さい。

各種証明書の発行について

（母校事務室からの伝言）

証明書が必要なときは、法令の定めにより証明書
交付申請書別紙（用紙は事務室に備付）を校長宛提
出しなければなりません。（第二号十九頁の様式）
申請書には必要事項記入のうえ押印し左記金額に
相当する高知県収入証紙を貼付してください。遠隔
地からの申込みは事務手続に相当の日数を要します
ので早目に申込みをしてください。又県外には高知
県収入証紙は販売していないので、現金、又は郵便
小為替を同封してください。
なお返信用の封筒には切手の貼付、住所、氏名、
郵便番号をお忘れなくご記入ください。

手数料は次のとおりです。

卒業 証明書	一通につき四二〇円
成績 証明書	一通につき四二〇円
単位修得証明書	一通につき四二〇円
送料	

送り先 千七百八十五・八五三三

須崎市多の郷和佐田甲四一六七ノ三

高知県立須崎工業高等学校事務室

電話（〇八八九）四二一・一八六

FAX（〇八八九）四二一・一七五

証明書の件につき不都合または不明な点等があり
ましたらいつでも右記電話番号の証明係までお電話
ください。

編集後記

毎年のことながら、各支部の役員並びに会員の皆
様に原稿をご依頼いたしましたところ、ご多忙中
にかかわらず心よくご寄稿頂きありがとうございます。

来年度は創立六〇周年になりますので、会員の皆様
のご寄稿おまちしております。

会報「にしきうら」第二十五号を、お送りいたし
ます。会報届け先不明者の住所等ご承知の方並びに
住所・勤務先が変更になった方は、会報の折り込み
葉書で事務局まで連絡下さいますようお願いいたし
ます。

平成十三年度も会報第二十六号を発行予定してお
りますので、ぜひ皆様のご寄稿をお願いします。
尚、勝手ながら、原稿は九月五日までに事務局ま
でお寄せくださいますようお願いいたします。

編集委員

会報「にしきうら」第二五号

平成十二年十二月一日発行

高知県立須崎工業高等学校

発行所 同窓会事務局

有限会社笹岡印刷所

印刷所

高知県須崎市東古市町二番十六号
電話（〇八八九）四二一・〇二四四番